



TITLE:

貧民ノ體力ニ就イテ

AUTHOR(S):

高田, 保馬

---

CITATION:

高田, 保馬. 貧民ノ體力ニ就イテ. 經濟論叢 1916, 2(4): 602-603

ISSUE DATE:

1916-04

URL:

<https://doi.org/10.14989/126987>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

# 叢論濟經

號四第

卷二第

## 論說

●雜種稅ノ分析及其整理

●奢侈ト貧困

●でるゐるひゆるむノ經濟學說三

## 研究

●不換紙幣流通ノ根據ニ就テ

●保險ト偶然性

●本多利明ノ經濟說三

## 雜誌

●英國經濟政策ノ變轉期

●貧民ノ體力ニ就イテ

●英國ノ戰爭利得稅

●本邦私出產ノ死産

●歐洲各國ニ於ケル生活費ノ増加ニ對スル防止策

●郷土ノ經濟的研究

●所有權ノ起源

●紙幣ノ下落

●經濟學讀書會記事

●富田博士ヲ悼ム

法學博士 神戶正雄

法學博士 河上肇

法學博士 福田德三

山口高等商業學校教授 作田莊一

法學士 小島昌太郎

講師 本庄榮治郎

助教授 河田嗣郎

講師 高田保馬

法學博士 小川郷太郎

教授 財部靜治

助教授 山本美越乃

法學博士 神戶正雄

講師 本庄榮治郎

法學博士 河上肇

講師 高田保馬

法學博士 織田萬

# 貧民ノ體力ニ就イテ

講 師 高 田 保 馬

貧富ガ人ノ體力ニ及ボス影響如何、コハ頗ル重要ニシテ興味アル問題ナルニ拘ハラズ、從來、學者ノ注意ヲ惹ク事少カリシニ似タリ。タゞ一國ノ軍備ガ兵員ノ體力ニ俟ツ所多ク、兵員ノ體力ガ其階級的地位ト聯關スル所大ナル所ヨリシテ

軍事當局者ニヨリ多少ノ研究ノ試ミラレタルモノナキニ非ズ。然レドモ、コレトテモ其材料ナホ極メテ貧弱ナリト云ハザル可カラズ。此間ニアリテにつえふるノ貧民階級論ハ該問題ニ關スル唯一ノ組織的研究ナリト云フモ不可ナシ。而シテ氏ノ見解ニヨレバ、貧民ノ體格ハ之ヲ富者ノ體格ニ比スルニ極メテ劣惡ナリ。貧民ハ生理的ニ社會ノ劣敗者ナル事、ソガ經濟的ニ劣敗者ナルト同ジ。貧富ノ兩階級間ニハ經濟的ニ踰ユ可カラザル深淵アルト同ジク、生理的ニモ亦カカル深淵ノ劃セラレタルヲ認ム。カクテ、みけるすハ曰ク、かある・まあくすが經濟學的ニ成シタル所ヲにつえふるハ人類學的ニ成シ得タリ、前者ハ貧民ガ到底富者トナリ得可キ經濟的事情ノ存セザルヲ明ニシ、後者ハマタ貧民ガ富者ト殆ンド相異ナレル人種ニ屬スト云フ生理的事情ヲ明ニシタリト。<sup>1)</sup>

につえふるガ研究ノ材料トシテ用ヒタルハろざんぬ市ノ學童三千百十七人ニシテ、彼ハ之ヲ其家庭ノ貧富ニ應ジテ二ノ階級ニ分チタリ。區

- 1) Niceforo, Les Classes pauvres. Recherches anthropologiques et sociales. 1905.
- 2) Michels, Grundprobleme der Sozialphilosophie. 1913.

別ノ標準トナレルモノハ職業ノ差異ニシテ、富者ハ自由職業、其他ノ精神的職業、商業、資本ニ衣食スルモノヲ含シ、日傭人夫、土方、工業勞働者、鐵道電車等ノ交通業ノ勞働者、其他ノ肉體的勞働ニ従事スル者等ヲ貧者トス。此區別ニ從ヒ貧民ノ子ト富者ノ子トフ比較スルニ身長ニ於テモ、體重ニ於テモ、マタ二者ノ比ニ於テモ、貧富ノ間ニ著シキ懸隔ノ存スルヲ見ル。

年齢	男	子	女	子
7	富	資	富	資
8	120.0	116.1	123.3	119.5
9	126.2	122.5	129.6	124.4
10	129.9	128.9	135.2	129.7
11	134.2	128.9	135.2	134.1
12	135.2	134.2	137.4	140.1
13	140.5	138.8	142.9	146.5
14	144.4	140.5	148.2	146.4
15	150.1	146.2	152.6	146.4

雜錄

年齢	男	子	女	子
7	富	資	富	資
8	19.16	18.96	19.51	18.90
9	19.20	18.85	19.91	19.51
10	20.38	19.91	20.23	19.38
11	21.27	20.85	21.23	20.38
12	21.92	21.94	22.40	21.71
13	23.07	23.40	23.03	24.00
14	24.51	23.92	23.79	25.68
15	27.00	25.89	25.53	28.56

相對的體重

體重(グラム)  
身長(センチメートル)

100/身長

相對的體重トシテハ、Liviノ公式

ラズシテ、Queteletノ公式

用フ。

今姑ク之ヲ略ス。以上抄録シタル三者ノミヨリ見ルモ、吾人ハ氏ノ第一ノ概化ニ反對スルモノニ非ズ。即チ此等ノ學童ニ就イテ見レバ貧者ノ體力ハ遙カニ富者ノ下ニアリト云フ事コレナリ。然レド吾人ハ、之ヨリ進ミテ、一般ニ貧民ノ

3) Livi, L'indice ponderale o il rapporto tra la statura e il peso. Societa romana d'antropologia, 1898.

體力ハ富者ノ下ニアリト云フ事ヲ斷言シ得可キカ。單ニ抽象的ニ考ヘ來ルモ、此提言トハ反對ナル暗示ヲ得ル事ヲ得可シ。貧民ニアリテハ幼兒ノ死亡率特ニ大ナリ、從ヒテ、其成年ニ達セルモノハ嚴酷ナル淘汰ヲ經來リシモノミナラザル可カラズ。幼時ニ於ケル死亡率小ニシテ淘汰ノ寛ナリシ富者ニ比シ、却リテ優良ノ體力ヲ有スル事ナキヤ。殊ニ幼時ニアリテハ貧富共ニ運動ノ缺乏ヲ憂フル事少シ、長ズルニ及ビテ、富者ハ特ニ身體ノ鍛鍊ニ缺グル所ナキヤ。コレヲノ事情ヨリ考フレバ、貧富體力ノ差異ハ決シテ、幼年者ノ研究結果ヨリ直ニ一概ニ推斷シ得可キモノニ非ザルナリ。

につえふるは自ラ、此問題ヲ掲ゲテ曰ク、此貧富ノ學童間ニ見ル身體的差異ハ年齡ト共ニ消失シ去ルモノニ非ザルカト。而シテ進ミテ答フラク、否、此差異ハ消失スル事ナクシテ、一般貧民ノ特徵ヲナスト。而シテ氏ハ其例證トシテ身長ニ關スル徵兵統計ノ結果ヲ列擧シタリ。Livi, Carlier, Longuet, Oloriz, Bertillon, Chalmureau

ノ報告ニヨルニ、徵兵検査ノ結果富者ノ身長ハ常ニ必ズ貧者ノソレヨリモ大ナリ。而シテ次ニ同一ノ例證ヲ其他ノ私人ノ統計ニ覓メ來レリ。進ミテ、胸圍ニ關スル徵兵統計ヲ引キ、貧富ニヨル胸圍ノ差異ノ壯丁ニ於テモ亦學童ニ於ケルト相等シキモノアルヲ論ジタリ。而シテ最後ニ説イテ曰ク、體重其他ニ關シテハ貧者富者間ニ見ル差異ノ統計資料極メテ乏シ、然レトモ如上ノ材料ヨリシテ貧民ノ體力が一般ニ富者ニ劣ル事ヲ斷ジ得可シト。

吾人ハ此後ノ提言ニ關シテハ、全然反對セザル能ハズ。第一、氏ノ提言ハ氏ニヨリテ何等充分ナル論證ヲ試ミラレ居ラザルナリ。吾人ト雖モ、貧民ニ於イテ身長ノ一般ニ小ナルヲ認ム。然レドモ、富者ガ身長ノ大ナル事ハ如何ニシテ其體力優良ノ標徵ナルカ。我國青年ノ身長ハ近年著シク其大サヲ加ヘタルモ之ニ伴ヒテ體力其物ハ益弱小ヲ加ヘ死亡率ノ増加ヲ見タルニ非ズヤ、徵兵検査官ハ身長ノ大小ヲ以テ何等體力ノ大小ノ標徵トナサズ、同一ノ體重ヲ有スルモノナラ

バ身長ノ大ナル程虛弱ナリト認メツツアルニ非ズヤ。マタ、胸圍ノ大小モ之ヲ身長ト比較スルニ非ザレバ、體力判別ノ標準タル能ハズ、身長ノ大ナル富者ニ於テ胸圍ノ大ナルハ必ズモ體力ノ優秀ヲ示スモノニ非ザルナリ、而モ氏ハ何等此點ニ言及セズ、從ヒテ其列舉シタル事實トシテ何等論證ノ力ヲ有スルモノナシ。第二、氏ノ研究シタル學童ニ見ルニ、身長ニ於テモ體重ニ於テモ、其平均ニ於テハ貧者ノ子ノ富者ノ子ニ及バザルハ明ナリ。然レドモ各年齡ノ frequency curves ニ就テ見ルニ最頻値 (mode) ハ年齡ヲ加フルニツレ漸次ニ相接近シ來レルヲ見ル此傾向ガ年齡ヲ追ウテ進ムモノト見バ、貧富ニヨル體力ノ差ハ長ズルニ及ビテ消失ス可キモノニ非ザルカ。思フニ、體力ノ大小ヲ決スルモノハ姑ク遺傳ノ要素ヲ除外シテ考ヘンカ (而シテにつゑふむろハ此貧富ニヨル體力ノ差ヲ以テ遺傳ニ歸セズ) 幼時ニアリテハ一ニ食物ニアリ、胃腸ノ消化力充分ニ完備セル壯年以上ノ者ニアリテハ身體的鍛鍊、運動ノ如何ニアリテ食物ニ存セズ。

貧者ノ體力ハ、富者ノ體力ニ比シテ却リテ強カル可キモノニ非ザルカ。モトヨリ貧富ノ區別ノ標準ハ甚ダ困難ナリ。につゑふむろノ所謂 *Classé* *riche* (コ、ニ富者ト譯シタルハ必ズシモ當ラズ) ガ中流階級ノ人々ヲ含ム事明ナリ。然レドモ其中ニ含まレタル眞ノ富者ニ至リテハ其體力、一般ニ云フ時ハ必ズヤ貧者ノ下ニアル可シト信ズ。試ニ之ヲ我國ノ徴兵統計ニツイテ見ン。

(京都市)直接國勢調査									
甲	50國		100國		100國		100國		計
	以下	以上	以下	以上	以下	以上	以下	以上	
一乙	234	16	8	31	33	6	17	6	甲種割合%
二乙	60	2	6	4	3	8	2	2	
丙	274	10	20	29	52	18	20	20	甲種割合%
丁	267	11	10	23	87	18	16	16	
計	50	1	4	2	7	1	5	5	甲種割合%
甲	885	40	48	85	129	54	50	50	
乙	264	40.0	16.5	36.5	25.6	31.5	18.0	18.0	甲種割合%
丙	272	14	7	25	26	18	5	5	
丁	322	11	19	33	36	9	15	15	甲種割合%
計	280	14	14	19	29	10	4	4	
甲	64	3	3	8	3	1	1	1	甲種割合%
乙	988	42	43	85	94	38	27	27	
丙	29.0	33.1	16.3	20.4	27.7	47.4	22.2	22.2	甲種割合%
丁	506	30	15	56	59	35	15	15	
計	1824	82	91	165	223	92	77	77	甲種割合%
甲	27.7	36.6	16.5	33.9	26.5	38.0	19.5	19.5	

4) Niceforo, op. cit. p. 340. appendice. Courbe anthropométrique.

生計程度	中ノ上	中ノ下	下
甲	15	95	127
乙	1	21	32
乙	23	111	141
丙	23	98	138
丁	5	13	30
計	67	338	467
平均割合%	22.4	38.0	26.3

(以上ノ計數ハ大正元年度檢丁名簿ニツイテ余ノ集計シタルモノナリ、生計程度ノ區別ハ市役所ノ認定ニヨリ、之ニ納税額ヲ參照シタリ)

吾人モトヨリ、貧民ヲ以テ最モ優良ノ體格ヲ有スルモノトナスニハ非ズ。然レドモ、之ヲ以テ其體格最モ劣惡ナリトナシ、此點ニ於イテ富者ト殆ンド人種ヲ異ニスル觀アリトナスにつゑふたろノ如キニ對シテハ極端ニ反對セザル能ハズ。體力ニ於テ最モ劣惡ナルモノハ貧者ニ非ズシテ最上層ノ富者ナリ。彼等ハ社會ニ於ケル生理上ノ廢物タリ塵芥タリ。貧民ノ體格ハ之ヲ彼等ニ比スルニ甚ダ優良ニシテ、タダ中流階級ニ比スル時ハ幾分ノ遜色ナキニ非ザルガ如シ。若シ夫レ、につゑふたろノ研究方法ニ從ヒテ、貧富ヲ判ツニ職業ノ區別ニヨランカ、吾人ハ氏ガ所謂 Class

is の大部分ヲ形レル精神的職業ニ現ニ從事シ又ハ從事セントスル人ノ體格ノ遜ニ一般人ヨリ劣等ナルヲ認メザル能ハズ。

東條隊員大正四年徵兵検査ノ結果職業別	學生	雜業	商業	工業	農業	漁業	總計
壯丁總數	491	1050	531	786	2909	338	6,105
身長	A 5.361	5.220	5.258	5.246	5.253	5.247	5.255
体重	A 5.373	5.318	5.283	5.221	5.215	5.220	5.226
腕長	A 5.364	5.219	5.250	5.291	5.238	5.227	5.244
體高	A 14.012	13.619	13.567	13.937	14.137	14.828	13.984
體重	A 14.235	13.946	14.026	14.078	14.229	14.771	14.219
身長	B 14.067	13.710	13.910	13.984	14.175	14.787	14.072
體重	B 2.613	2.609	2.635	2.662	2.691	2.826	2.611
身長	A 2.649	2.673	2.680	2.636	2.728	2.829	2.721
體重	B 2.662	2.627	2.650	2.673	2.706	2.829	2.683
平均割合%	21.0	23.5	28.4	32.5	34.5	48.9	30.5

(注意) 雜業者中ニハ官公吏、鐵道郵便従業員、各種會社事務員、神官、僧侶、宣教師、寫眞師、活版業、理髮職、仕立屋料理屋等ヲ含む。

外國ニ於イテモ壯丁體格ノ最モ良好ナルハ、一定ノ肉體的努力ヲ要スル職業ニアリ。例ヘバ瑞典ニ於テ平均合格率六十三ニ對シ、船乗七十九、麥酒釀造工七十六、大工鍛冶七十四ノ多數ヲ示セリ。吾人ハにつゑふたろノ研究ヲバ其研究セラレタル範圍内ニ於イテ疑ハントスルモノニ非

5) Claassen, Frage der Entartung der Volksmassen auf Grund der verschiedenen, durch Statistik dargebotenen Massstabe der Vitalität, Archiv f. Rassen u. Gesellschaftsbiologie. 1906.

ズ、然レドモ、氏ガ其研究結果トシテエタル命題ヲ此範圍タル學童以外一般貧民ニ及ボサントスル事ニ就イテハ極端ナル反對意見ヲ抱クモノナリ。吾人ハ斷言ス、若シ少數ノ *déclassés*ヲ除イテ云ハバ一般貧民ノ體力ハ富者ノ上ニアリト。